



※学-Viva：「Viva」は、「生きる」という動詞から生まれた言葉です。三重の「学び場」が生きていくイメージで名付けました。

## 生活習慣・読書習慣チェックシート

★ みえの学力向上県民運動セカンドステージ★展開中★

生活習慣等の改善を！！

三重県・三重県教育委員会では、子どもたちの生活習慣・読書習慣等の確立のため、生活習慣・読書習慣チェックシートを活用した県内一斉の集中取組を、PTAと連携して実施しています。

取組実施後は、子どもたち、保護者や地域へのフィードバックの取組を行い、生活指導等に活用することが大切です。

### チェックシートの主な改善点

- 小学校1,2年生版を追加
- 「スマホ等の使用について」の項目を追加 (小学校3年生以上)
- 学習時間の項目に「復習」を特記
- 「子どもの振り返り」& 「先生からの一言」

### 四日市市立三滝中学校

授業の振り返りを確実にし、家庭での復習につなげる！

生活習慣・読書習慣チェックシートの取組実施後に、各項目の達成率をグラフ化し考察することで、生徒の1日の行動様式を把握しています。また、生徒、保護者・地域に対しても数値等も使い、具体的で分かりやすく結果を示しています。さらに、分析結果を地域の課題と捉え、校区の小学校とも交流を図っています。

#### 結果から

- 授業の復習に十分な時間が取れていない
- ゲーム等に費やす時間が多い
- 家庭学習の習慣が確立していない

学びのあしあとを  
学校と家庭が共有

全ての生徒に  
負担がない！

そこで

「思い出しシート」を全校で実施！

生徒の実態に  
応じて  
取り組める！

三滝中  
オリジナル！  
だよ

三滝中 家庭学習支援シート 「思い出しシート」		
教科	思い出し (何も見ずに) 1教科×2分以内	書き出し・整理 (ノートを見てポイントを確認) 1教科×5分以内
国語	第1段階 今日の学習を思い出して書く	第2段階 ノートや教科書等で学習内容を振り返り補完する(復習) 帰宅後
社会		
数学		
理科		
英語		
私のサポーターは <input type="text"/> さん です。		

### 「思い出しシート」を活用することの効果

#### 生徒は

- \* 2段階で復習を実施することで、学習内容がより定着しやすくなる → 国語・数学の平均正答率 UP!
- \* 家庭学習のガイダンスの役割を果たし、家庭学習で何をすればよいか明確になる  
→ 自分で計画を立てて勉強している 8.2 彙 UP!
- \* 授業に主体的に学習する姿が多くみられる  
→ 生徒の間で話し合う活動をよく行っていた 17.7 彙 UP!

#### 教員は

- \* 「授業のポイント」を明確にした授業改善が進む  
→ 目標(めあて・ねらい)が示されていた 16.8 彙 UP!
- \* 学習を振り返る活動をよく行っていた 11.8 彙 UP!

※ 数値は全国学調(H27→H28)による比較

取組状況等について、個人面談形式で

生徒本人にフィードバック！！

#### 「思い出しシート」についての生徒の感想

- ・ 授業のポイントを理解しやすくなった。
- ・ 家庭学習で何をするのかわかりやすくなった。
- ・ 今日はこれを「思い出しシート」に書こうと考えながら授業に取り組むようになった。

- 毎週月曜日に全校体制で放課後の補充学習「グッ・ジョブ」を実施 (+ 「思い出しシート」のフィードバックも!)
- PTAが主体となり「漢字検定試験」を実施
- 「学習チャレンジ問題」を集めたコーナーの設置

\* H28 全国学力・学習状況調査 生徒質問紙

- ・ 「平日の学習時間(1時間以上)」 → 7.2 彙 UP!
- ・ 「学校の宿題をしているか」 → 3.4 彙 UP!

全国学力・学習状況調査の児童質問紙やチェックシートの結果分析を、生活習慣・読書習慣の確立に向けた取組の中に位置付けています。また、学校・学年だよりや保護者が参加する学校保健委員会等の会議を通じて、自己管理能力の育成を図っています。

**学校だよりによる啓発**

全国学力・学習状況調査  
質問紙調査結果から

- ・テレビ等の視聴時間の長さ
- ・学習時間の短さ

↓  
家庭においてルールや基準等をつくり有効な過ごし方について話し合うよう呼びかけ

**学年だよりによる啓発**

チェックシートの「保護者からの一言」欄に書かれたコメントを紹介

↓  
家庭への協力を呼びかけ

**学校保健委員会での情報提供・意見交換**

- ・生活習慣・読書習慣の確立のための効果的な学校・家庭の取組等について
- ・テレビやゲーム等が心身に与える影響や上手な付き合い方

- ・歯科医師から・・・  
口腔内の健康状態と家庭生活の関係について
- ・保護者から・・・  
家族でルールを決めることの大切さ等について



**● コミュニティ・スクール (本年度より実施) の活用**

家庭における学習習慣の定着、読書活動の充実

生活習慣の改善

**学校の課題の一つと捉える!**

- ・学校運営協議会等を通じて児童の生活習慣等に係る課題の情報提供

地域と一体となり課題解決!



生活習慣・読書習慣チェックシートや全国学力・学習状況調査の児童質問紙の結果から、本校では、子どもたちの図書館活用の意識が高いことが明らかになりました。読書教育は、国語力(読解力、語彙力、思考力等)向上と密接なつながりがあることから、学校図書館を中心に「学びの環境づくり」を進め、情報収集・探索能力等の情報活用能力や課題解決能力を育成・向上させる取組を進めています。

**学習情報センターとして**

**子どもが自ら課題について調べ、学習する力を育成するための指導・支援の場の一つに**



**● 従来の枠にとらわれない読書環境づくり**

- ・校区内の水田で採取したカブトエビやホウネンエビを展示観察したり、触れたりした後、図鑑で形態や生態を調べる!

- 各教科等の学習内容や活動と本をつなぐことを意図した展示

- 「調べる学習」を深めるための**学校司書による授業支援の実践研究**

**交流や文化活動をする広場として**

子どもと本との出会いをサポートする場、  
子どもの居場所、職員と子ども、  
子どもと子どもをつなぐ場に

- 図書委員による異学年児童への読み聞かせ等のイベントを企画



**その他**

- 町の給食センターでは「本に出てくるメニュー」を取り入れる
- 子どもたちからのリクエストを献立に反映させ、昼の放送等で紹介

これらの取組等により・・・

- 本の貸し出し冊数 上半期の集計

→ 一人当たり **50冊を超える**

- 全国学力・学習状況調査結果

「週に1～3回程度図書館に行く子どもの割合」 → **全国平均を大きく上回る**

「読書は楽しい」と感じる子どもの割合も **UP!**

**読書センターとして**

子どもたちから見て

「行けば何か新しい**興味がわく**」

「わくわくする本に**出会う**」場に

- 学校行事や体験学習活動時に行うブックトークや読み聞かせ
- 新刊本の紹介や、季節ごと、各学年にあった本の紹介等ブックコーナー

**●●● 就学前の子ども向け生活習慣チェックシートの実施状況について ●●●**

\* 第1回の実施状況：**85.8%**

H27年度 (68.7%)より **17.1 ㊦ UP!**

園では、取組から明らかになった課題や改善状況を、園だよりや保健だより等で共有したり、保幼小中の連携による話し合いの機会等に話題として提示したりするなどして、結果の活用が進められています。

就学前からの生活習慣の確立が、小・中学校へつながるよう、これからも取組を進めていきましょう!

3歳児、4、5歳児向けがあり、小・中学校版のチェックシートにつながるよう作成しています

**生活習慣の確立に結びつく!**

**\* 保護者の声 \***

「生活リズムを見直す、よい機会となりました。」  
「家でのあいさつが増えました。」

テレビ視聴時間等の改善が見られますが、スマホ等の使用時間に引き続き課題が見られます。家での学習習慣（学習時間、復習等）も引き続き課題が見られます。

スマホ等の適切な使用、学習習慣や読書習慣等、家で話し合ってルールをつくることなどが大切です。「**子どもの問題は、大人の問題**」。子どもたちは大人を見て育ちます。

※（ ）は全国の割合です



## 1 生活習慣

\* 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか\* **3時間以上と回答した割合**

	H26	H27	H28
児童	38.4 (38.0)	35.8 (36.1)	32.4 (32.8)
生徒	35.2 (31.5)	32.4 (30.5)	25.5 (24.1)

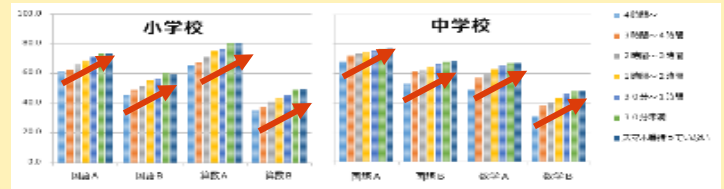
児童生徒ともに視聴時間は減少傾向にあり、昨年度に引き続き児童の割合は全国を下回っています。

全教科で、基本的に、視聴時間の長さと言力との関連が見られます。

\* 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか\* **3時間以上と回答した割合**

	H26	H27	H28
児童	5.6 (5.0)	6.3 (5.7)	5.9 (5.8)
生徒	24.5 (19.8)	21.5 (18.2)	18.6 (16.6)

昨年度より改善しているものの、全国平均を上回っています。全教科で時間の長さと言力との関連が見られます。



## 2 学習習慣

\* 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか\* **1時間以上と回答した割合**

	H26	H27	H28
児童	59.4 (62.0)	58.4 (62.7)	60.4 (62.5)
生徒	64.4 (67.9)	66.5 (69.0)	65.2 (67.9)

\* 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか\* **1時間以上と回答した割合**

	H26	H27	H28
児童	46.9 (55.9)	45.8 (56.7)	49.0 (57.0)
生徒	57.4 (67.4)	59.9 (68.7)	59.8 (67.8)

**小** 1時間以上学習する児童の割合は高くなってきていますが、全国平均より低くなっています。

**中** 1時間以上学習する生徒の割合は、全国平均との差は縮まる傾向にありますが、生徒の割合はほとんど変わらず改善が見られません。

**小** 計画的な学習と復習をしている児童の割合が増加傾向にありますが、全国平均を下回っています。

**中** 計画的な学習、予習、復習をしている生徒の割合は昨年度より減少し、復習をしている割合は全国平均を下回っています。

\* 家で、学校の宿題をしていますか\* **肯定的な回答**

	H26	H27	H28
児童	97.3 (96.5)	97.3 (96.8)	97.7 (97.0)
生徒	87.7 (88.2)	90.9 (89.3)	91.8 (90.1)

\* 家で、学校の授業の復習をしていますか\* **肯定的な回答**

	H26	H27	H28
児童	48.7 (54.0)	50.1 (54.5)	54.2 (55.2)
生徒	45.5 (50.4)	48.9 (52.0)	48.5 (51.0)

宿題をしている児童生徒の割合が高く、増加傾向にあります。

## 3 読書習慣

\* 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか\* **10分以上と回答した割合**

	H26	H27	H28
児童	62.5 (64.7)	61.1 (64.2)	62.4 (63.5)
生徒	50.7 (53.0)	48.6 (52.2)	46.4 (49.7)

\* 読書は好きですか\* **肯定的な回答**

	H26	H27	H28
児童	72.5 (73.0)	72.4 (72.8)	74.3 (74.6)
生徒	68.8 (69.4)	67.8 (67.9)	69.4 (69.9)

**小** 読書を10分以上する児童、読書を好きと肯定的な回答をする児童の割合はともに昨年度より増加し、全国平均との差もやや改善が見られます。

**中** 読書を好きと肯定的に回答する生徒の割合は昨年度より増加していますが、全国平均との差は拡大しています。読書を10分以上する生徒は減少し全国平均より低い傾向にあります。

# 学力向上 に向けた

# 具体的な実践事例

## 【事例21】東員町立神田小学校

### 自ら学ぶ「確かな学力」の定着をはかる

神田小学校では、「児童へのきめ細かな指導支援体制を確立して、一人ひとりに確かな学力をつける」と「効果的な少人数指導のあり方について実践的な研究を行い、学力の二極化の改善・解消につなげる」ことを目標として、算数科少人数指導を推進しています。



#### 指導体制

#### 習熟度別少人数指導やT.T.等による、子どもの学びを重視したきめ細かな指導体制（全学年）

- 5・6年生…各学級を習熟度別で2分割して編制
- 4年生…2学級を習熟度別で2分割して3学級編制
- 3年生…各学級を習熟度別で2分割して編制
- 2年生…3学級を均等割りした4学級編制
- 1年生…T.T.を実施（T1：担任、T2：少人数担当）

#### コース編成

- ・原則、児童と保護者の希望をもとに、担任と少人数担当で調整する。
- ・単元ごと、または領域別にコースを編制する。
- ・各学年とも、最初の単元は、全学級T.T.で授業を行う。（児童の観察も含む）

#### じっくりコース

少ない問題を丁寧に扱い、時間をかけてじっくり学習内容を理解することで、**基礎基本の力をつける**とともに、活用問題にも取り組む。

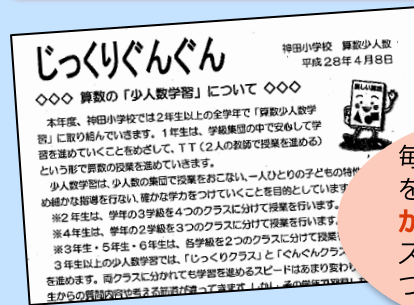
- 児童の人数：学級の1/3程度
- 指導者：担任 ● 場所：各学級の教室



#### ぐんぐんコース

多くの問題を解いたり、自分で問題を作ったり、**発展的な問題にチャレンジ**したりして、**思考力・判断力・表現力を高める**。

- 児童の人数：学級の2/3程度
- 指導者：少人数担当 ● 場所：算数少人数教室



毎週1回、放課後や昼休みを使い、**担任と少人数担当が打ち合わせ**を行い、コースに合わせた授業づくりについて話し合う。

↑ 保護者向けの算数科少人数指導の通信

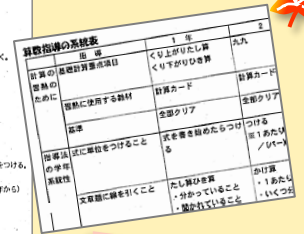
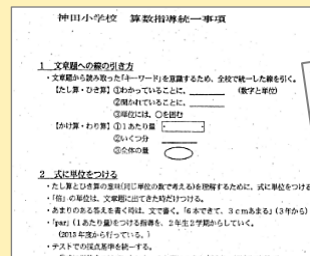
#### 系統的な指導

「算数指導統一事項」「算数指導の系統表」（神田小学校独自に作成）に則り、確かな

定着をめざした取組を行う。また、学年の到達目標を定め、**基礎計算力アップ**も図る。

例えば・・・

- ・2年生…百ます計算（たし算・ひき算・かけ算）が3分以内にできる。
- ・4年生…わり算（第三類型）50問が5分以内にできる。
- ・6年生…わり算（第三類型）50問が3分以内にできる。



#### 分析・検証方法

- ・全国学調、みえスタディ・チェック、総合学力調査IRT、単元テストの結果を分析（誤答も含む）し、指導に活かす。
- ・単元テストで、両コースの平均点と中央値の成果率90%以上をめざす。《じっくりコース平均（または中央）値÷ぐんぐんコース平均（または中央）値》
- ・課題が見られる児童の追跡調査
- ・QU調査の分析を活かした学習意欲の向上

#### <全国学力・学習状況調査の結果

～向上が見られたもの～

- **算数A問題**
    - ・基礎的な計算問題
    - ・図形の位置関係の問題
  - **算数B問題**
    - ・面積の求め方や式の意味の説明を記述する問題
  - **児童質問紙**
    - ・算数の授業が好きと肯定的に答えた児童が83%
- 少人数指導の取組に肯定的な回答をした児童が多い。

#### 成果と課題

#### ●●●●● 東員町立神田小学校長のコメント ●●●●●

本校の「学び重視型算数科少人数指導」は、「生きる力」に結びつく「確かな学力」を育成するための取組の一つです。授業では、希望を尊重しつつ児童間の差別意識やコース毎の授業レベルの差を生まないように、「学びの共同体」の研究成果を受け継ぐ「全校児童目標」である『聴く力・たずねる力・教える力・話せる力』の育成を意識し、ペアやグループを活用して、ジャンプの課題に挑戦する授業づくりを心がけています。

職員集団の努力とともに、少人数指導に係る加配や教育条件の整備があつてこそ、この実践が可能となっています。